

## 2 2 リゾート開発等に伴う受託事業について

弘前営林署      ○ 桜 井 常 彦  
山 内      力

### 1 課題をとりあげた背景

当署管内には現在二つのリゾート開発（スキー場）が計画されており、二つのスキー場とも平成6年12月オープンを目指して、現在その手続きを進めているところである。

一つは、岩木山東麓に開設する「岩木山弥生スキー場」、もう一つは岩木山西麓に開設する「岩木山岳スキー場」である。

両スキー場とも大規模スキー場計画で、スキーヤーはもとより地元弘前市をはじめ、周辺の地域振興からもその早期オープンが待たれているところである。

二つのリゾート開発のうち「岩木山弥生スキー場」については、スキーコース等の一部立木調査の受託契約を締結し、収穫調査を既に終了しておりますが、両スキー場とも今後も引き続きスキーコース等の立木調査、保安林代替施設工事の監督、スキー場オープン後のスキー場管理業務等の受託も予想されることから、リゾート開発に伴う問題点、受託事業実施上の問題点、リゾート開発等に伴う営林署の対応について発表する。

### 2 両リゾート開発が計画されている「岩木山」

津軽一帯から見渡せる岩木山（標高1,625m）は、津軽の象徴であり、津軽の人々から「お山」あるいは「お岩木山」と呼ばれ、津軽の人々に愛され親しまれ、又信仰の山でもある。

津軽地方の最大の祭りである「お山参詣」は、旧暦8月1日に、青森ひばのカンナがらで作る御幣（現在ではほとんどビニールテープとなっている。）と巨大なのぼりを岩木山神社に奉納し、五穀豊穡を祈願する祭りである。



岩木山南麓にある岩木山神社は、創建が西暦786年ころともいわれ、現在残っている最も古い建物は390年以上経過しているものもあり、すべて青森ひばで建てられており、国指定の重要文化財に指定されている。

また、岩木山周辺には数多くの神社が存在するが、特にその名が知られている高照神社は、津軽藩の藩祖、津軽為信公と名君と讃えられた4代信政公を祭神としている神社である。

岩木山周辺には以上のほか、岩木山西麓には有料道路「津軽岩木スカイライン」があり、夏季には登山、冬季には林間スキーコースとして利用されている。

さらに、西麓には「岩木山鱒ヶ沢スキー場」があり、南麓には「岩木山百沢スキー場」、そのほか、ゴルフ場2箇所、運動公園、世界一長い桜並木等々あって、岩木山周辺は観光、スポーツのメッカの様相を呈している。

### 3 岩木山への入り込み状況

津軽国定公園岩木山地区への入り込みは次のとおりであり、両リゾート開発に伴い更に入り込みが増加するものと期待される。

青森県観光課の資料

(単位：千人)

区分 \ 年	63	元	2	3	4
入り込み者	697	699	702	743	759
伸び率	100	100	101	107	109



#### 4 両リゾート開発の概要

##### (1) 岩木山弥生スキー場

###### ● エリア面積

国有林	3 2 5	h a
民有林	8 0	h a
計	4 0 5	h a

###### ● スキーコース

コース数	9	本
コースの延長	1 5 . 6	k m
コース・ゲレンデ面積	6 5	h a

###### ● 索道施設

6人乗りゴンドラ	1	基
4人乗りリフト	1	基
2人乗りリフト	7	基
輸送力合計	1 2 , 6 0 0	人/時

###### ● 建物

ターミナルハウス	2	棟
管 理 棟	1	棟
休 憩 所	2	棟
床 面 積	5 , 7 0 0	m <sup>2</sup>

###### ● 駐車場

第1駐車場	5 . 6 7 h a ( 2 , 8 5 0 台)
第2駐車場	4 . 2 1 h a ( 1 , 5 0 0 台)
計	9 . 8 8 h a ( 4 , 3 5 0 台)

###### ● 防災施設

堰 堤	3 基
調 整 池	4 箇所



(2) 岩木山岳スキー場

● エリア面積

国有林	4 1 5	h a
民有林	3 7	h a
計	4 5 2	h a

● スキーコース等

コースの数	7	本
コースの延長	1 8 . 5	k m
コース、ゲレンデ面積	6 6	h a

● 索道施設

6人乗りゴンドラ	1	基
4人乗りリフト	1	基
2人乗りリフト	2	基
輸送力合計	6, 6 0 0	人/時

● 建物

スキーセンター	2	棟
レストハウス	3	棟
床 面 積	3, 2 2 7	m <sup>2</sup>

● 駐車場

センターハウス駐車場	5. 9 0 h a	(2, 2 8 0 台)
岳 A 駐車場	2. 0 3 h a	( 2 0 0 台)
計	7. 9 3 h a	(2, 4 8 0 台)

● 防災施設

堰	堤	3 基
調 整 池		3 箇所
その他柵工		



## 5 リゾート開発に伴う問題点と営林署の対応

### (1) リゾート開発に伴う問題点

- ① 説明、打合せが多い
- ② 長期間に亘るため、資料の一体的保管がむずかしい
- ③ 窓口を一本化しているが、どうしても個別が多くなる
- ④ 相手との間に行き違いがでてくる
- ⑤ 経常業務にしわ寄せがでる
- ⑥ 現場森林官の業務が増える
- ⑦ 管理業務が増える

### (2) 営林署の対応

- ① 相手との連絡は必ず窓口を通して行う
- ② 個別打合せをできる限り少なくする
- ③ 相手からの情報は、関係者全員に周知する
- ④ 時系列に経緯を整理しておく
- ⑤ 問題点は早めに確認するようにする
- ⑥ 説明、打合せをした場合、要点はその場で再確認する
- ⑦ 個別打合せをした場合でも、その内容を関係者全員に周知する
- ⑧ 説明等の場合、要点は必ずメモしておく
- ⑨ 説明等の日程は、余裕をもって設定する



6 当署の受託事業の概要

受 託 事 業	平成 4 年 度	平成 5 年 度	6 年 度 以 降
白神山地指導巡視	○	○	○
白神山地標識設置	○		
岳スキー場駐車場予定地 立木調査	○		
原石山保安林代替施設工事 の監督	○		
相馬ダム湛水敷の立木調査		○	
弥生スキー場開発予定地 立木調査		○	○
両リゾート開発保安林代替 施設工事の監督			○
両スキー場管理業務			○
津軽ダム関係 立木調査等			○
受託事業収入額（千円）	5, 7 7 0	1 4, 0 0 0	?



# 7 受託事業の問題点とその対応策

問 題 点	対 応 策
① 業者と競合し積極的に折衝できない	関係業者と意思疎通を図り調整する
② 県の出先機関によって受託に対する対応が区々だ	出先機関と意思疎通を行い理解を深める
③ 経常業務との調整がむずかしい	余裕をもった契約期間とする
④ 発注機関によって手続きが違う	発注前に情報収集し、対応策を検討しておく
⑤ 職員の高齢化等で現場に出る職員が特定される	署全体の事業として考え、職員の協力体制により円滑実施に努める
⑥ スキー場等の場合、小班数が多く、事務処理に時間がかかる	収穫調査規程の見直しが必要である
⑦ 旅費、超勤がかかり増しになり、署の経常業務に支障がでる	受託に係る所要経費は、極力配算していただきたい
⑧ 受託評定額と民間とに差があり、契約しづらい場合がある	難しい問題であるが、情報収集し適正額の契約に努める



## 8 まとめ

当署においては、岩木山の二つのリゾート開発、相馬ダムの建設が現在進められているほか、津軽ダムも平成15年度完成の予定で各種調査が進められている。

また、白神山地が森林生態系保護地域の指定、環境庁の自然環境保全地域の指定に加え、世界遺産条約の遺産にも登録されて、我が署はこのような地域との関わりに係る対応が今後益々多くなってくる。

職員の減少、業務の精通者が少なくなる状況の中でも、これらに対しては、スムーズで、齟齬のない親切的な対応が必要である。

今回、リゾート開発、受託事業の問題点、対応策等を検証し、これに基づいて今後、リゾート開発等に対する受託事業実施の営林署の体制づくりを行いスムーズな業務の推進に役立て、営林署一丸となって地域とともに歩む国有林を目指し、地域の振興に資するよう前向きに取り組むとともに、今後とも新規収入確保のため受託事業にも積極的に取り組んで参りたいと考えている。